

B u t o h 、 日 本 上 陸 !

T O K Y O
B U T O H
C I R C U S
2018

2018
January
6-7



上野
ストア
ハウス



Butoh、日本上陸!

Tokyo Butoh

2018
1.6 sat 18:00~

開場は30分前。
終演後にアフタートーク有。



Yoshioka Yumiko

吉岡 由美子 Berlin

Opening Choreography

オープニング演出、振付 出演：ワークショップ参加者

1974年から1981年までアリアドネの會創立メンバーとして活動。1978年パリ、初の海外舞踏公演「最後の楽園」(演出：室伏鴻、カルロッタ池田)に出演。1988年から1994年までtatoeba-THEATRE DANSE GROTESQUEのメンバーとしてベルリンを拠点に活動。1994年、TEN PEN CHii art laborを創立。肉体、音楽、インスタレーションとの共同作業を中心に実験的な作品を創作している。1995年から4年に1度、ブルーリン城(旧東独)で、「eX..it! 舞踏交流フェスティバル」を主催し、祝祭空間を創出している。

<http://www.yumiko-yoshioka.com/>

写真提供：Ji Yang, Ron Lau, Yayo Lopez, Elena Bernati, Piero Perazzo, Klaus Rabien



Kawaguchi Takao

川口 隆夫 Tokyo

ブラックアウト BLACKOUT

1996年から2008年までダムタイプに参加。同時に2000年以降はソロを中心に、演劇・ダンス・映像・美術をまたぎ、舞台パフォーマンスの幅広い可能性を探求、他ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多い。2008年より「自分について語る」をテーマにしたソロパフォーマンスシリーズ「a perfect life」を展開。近年は舞踏に関する作品「大野一雄について」(2013年初演)で世界各地をツアー中。

2016年秋のニューヨーク公演は「ベッシー賞」のリバイバル作品部門にノミネートされた。

写真提供：Karan Malhotra, Gilles-Henri Polge



Kaseki Yuko

可世木 祐子 Berlin

SHOOT JEEZ MY GOSH

1988年から2000年まで故古川あんに師事しカンパニーDance Butter TOKIO、Verwandlungsamtに参加する。1995年よりベルリンを拠点にカンパニーcokasekiを設立。舞踏をベースに即興、パフォーマンスの手法を取り入れ、切迫した存在の悲喜劇を濃密な時間と空間の中で多彩な光景を体現する。障害者劇団Theater Thikwa(ベルリン)との共同制作はそれまでのダンスの概念を覆し、その後の活動に大きな影響を与えている。

<http://www.cokaseki.com/>

写真提供：Sigel Eschkol, Dadaware, Barbara Dietl

前売り 3,300円 当日 3,800円
2日通し 6,300円 (前売りのみ)

Ticket: Advance 3,300 yen Door 3,800yen
2 days 6,300 yen (Advance only)

予約：ストアハウス
03-5830-3944 ticket@storehouse.ne.jp

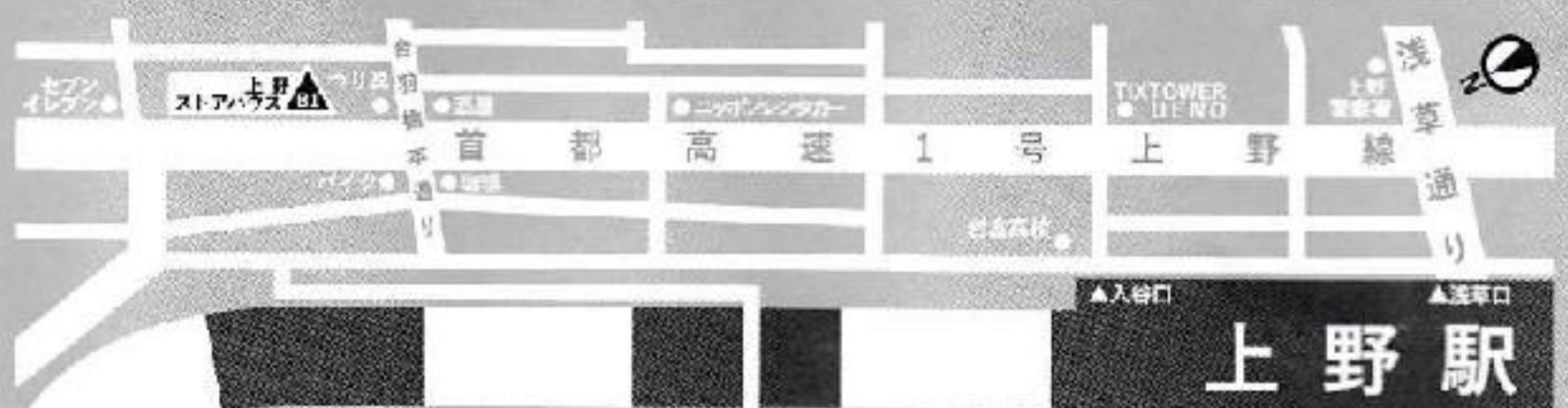
問合せ：東雲舞踏 03-6458-5908

WEB：<https://tokyobutohcircus.wixsite.com/2018>



Ticket booking :
STORE HOUSE
03-5830-3944
ticket@storehouse.ne.jp

場所：上野ストアハウス
東京都台東区北上野 1-6-11 NORDビル B1
Place: UENO STORE HOUSE
NORD Bldg.B1 1-6-11 Kita-Ueno Taito-ku Tokyo



歴史から何を掘り出し未来のダンスに繋げていくか、観客はそのヒントを発見するだろう。

竹重伸一（ダンス批評家）

Circus 2018

舞踏を“世界の Butoh”にした立役者たちを迎えた Butoh の祭典！

1.7 sun 18:00~

開場は 30 分前。
終演後にアフタートーク有。



Kawamoto Yuko

川本 裕子 Tokyo X ルナマレ Lu Na Ma Re

1991 年より 1999 年まで和栗山紀夫の下で土方巽の舞踏メソッドを学び、2000 年東雲舞踏を立ち上げる。言葉で記された土方巽の舞踏譜を、文化や言語の異なる人にも理解できるよう研究し舞踏の普及活動にも取り組んでいる。特にアジアでの「Asia Butoh Tree Project」は現在、アジア人で構成する舞踏集団を創設するところまで進展している。2012 年『星屑のびかる森』、2016 年『ささらもさら』を発表。

写真提供：谷口雅彦



BUTOH ha

舞踏派 ZERO Tokyo X i-to いと

1995 年、楠田健人、筆宝ふみえの 2 人で結成。楠田は 1987 年頃から 1989 年まで、筆宝は 1985 年から 1989 年まで、摩赤兒率いる大駱駝艦に所属。1996 年旗揚げ公演『クラムボンの冒険』、2015 年『実生ひ』『MA・MA・GO・TO 魔真誤都』『連の花咲く庭 黄金の泥、笑う蓮』『いと』『ハルバルト』の五作品を発表。2016 年『スープ空 [zero] をかきまぜる』は、第 48 回（2016 年度）舞踊批評家協会新人賞を受賞。

写真提供：佐藤ジン



Iwana Masaki

岩名 雅記 South Normandy X 捨てられた庭 Abandoned Garden

1945 年 2 月東京生まれ。演劇活動を経て 1975 年師もなく突如ソロ舞踏を開始。1983 年アジニョン国際演劇祭招待を機に活動拠点をヨーロッパに移し、1988 年フランスに移住。1996 年南ノルマンディにアトリエを開設、10 年連続の国際舞踏セミナー第一弾「世紀を超えて」を開始、現在は 2016 年より「Eternity（永遠）」を実施中。映像作家として、2006 年制作の長篇劇映画『朱霊たち』が 2009 年ポルトベロ国際映画祭でグランプリ受賞。2017 年『シャルロット・すさび』を制作。
<http://www.iwanabutoh.com/ja/>

写真提供：白踏館

Tokyo Butoh Circus とは

舞踏発生の地東京で、舞踏の多様性や可能性を楽しむための舞踏の祭典である。舞踏が世界中で Butoh として受け入れられ、その土地の文化と融合し進化してきた背景には日本人舞踏家の存在がある。今回初めて開催する Tokyo Butoh Circus 2018 では、世界中で Butoh の発展に貢献している舞踏家と、日本を拠点に舞踏を発信している舞踏家にスポットを当てる。

スタッフ

音響：浜中則江

照明：曾我傑

舞台監督：渡部剛己

制作：相川直之

企画：川本裕子

アドバイザー：竹重伸一

後援：土方巽アーカイヴ

NPO 法人 舞踏創造資源

主催：東雲舞踏